

平成22年度 長野県園芸特産業関係功労者表彰 受賞者功績概要

(敬称略)

油井 希明 (南佐久郡小海町)

昭和40年代からキクの栽培と並行してキクの育種に取り組む。

現在までに70品種を育成し、希望する農家に対して譲渡又は無償配布を行い、優良な品種の普及に努めた。

育成した品種のうち、「天寿」、「名城」、「スターレット」は、その優れた特性から県の基幹品種として位置付けられ広く普及した。

とりわけ、「天寿」については濃黄色、高い日持ち性、優れた花形などから、キクの代表品種として本県はもとより全国的にも広く普及して、花き生産振興に大きく貢献された。

名取 保美 (諏訪郡富士見町)

昭和20年代以降、キクの栽培と並行して栽培技術の研究や品種の選抜・育種に取り組む。

昭和50年代に夏ギクの短茎開花回避技術として、「トンネル密封栽培技術」の研究、開発に取り組み、被覆期間、資材の種類、方法などについて研究、検討した結果、早期短茎開花を回避して夏ギクの高品質・安定生産を可能にする技術として確立した。

この技術はキクの開花調節の技術として県下に広く普及し、「サマーイエロー」を始めとする優れた夏ギク品種の生産拡大につながり、本県花き生産振興に大きく貢献された。